



県立海部病院

特集
Close up

「住み慣れた我が家で安心して暮らしたい」
そんな願いに応える海部病院の訪問診療・看護を紹介します。



訪問看護の様子

県立病院基本理念

県民に支えられた病院として
県民医療の最後の砦となる



INDEX

CONTENTS

- 1・2 訪問診療・訪問看護について
- 3 Kサポートのご紹介

INFORMATION

- 4 お願い ーエボラ出血熱の発生国に渡航歴・滞在歴のある方へー
予防接種のご案内
クリスマス・新春邦楽コンサートを
開催します!

海部病院の訪問診療・訪問看護について



地域支援室の職員

海部郡内には療養型病床がなく、長期療養が必要な患者様への対応が困難であるという課題があります。こうした中、海部病院では住民の皆様への「住み慣れた我が家で安心して暮らしたい」という思いに応えるため、医師、看護師、理学療法士及び医療ソーシャルワーカー等が連携し、平成21年度から訪問診療・訪問看護を行っています。

また、地域支援者（ケアマネージャー・保健師等）で構成される「地域医療連携（施設）担当者会」や「在宅療養支援関係者連絡会」を定期的に開催するなど、海部郡の医療機関等が連携し、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築促進を図っています。

訪問診療・訪問看護をご希望の方は、次の内容をご確認の上、地域支援室にぜひご相談ください。

●訪問診療の内容

- ・ご自宅に医師が伺い体温や血圧等の測定、聴診を実施
- ・療養に必要な指導、薬の処方

●訪問看護の内容

- ・病状チェック
ご自宅に看護師が伺い体温や血圧等を測定し、病状の安定を図る
- ・日常生活の看護
清拭や洗髪、爪切り、排泄のお世話、寝たきりや床ずれの予防を実施
- ・医師の指示による医療処置
床ずれなどの処置、器械や留置チューブ等の管理、薬の管理等を実施

●訪問診療・訪問看護の対象者

- ・通院困難な状態で、医師が訪問診療・訪問看護が必要と認めた方
- ・海部郡内にお住まいの方（一部地域を除く）
- ・医療保険をお持ちの方（医療保健による有料の訪問診療・訪問看護）
- ・海部病院の医師が主治医の方
- ・厚生労働大臣が定める病気等

●利用時間

平日：8時30分～17時 ※24時間電話対応を行っています。
必要に応じて夜間や休日でも緊急訪問をさせていただきます。
☎0884-72-1166



訪問看護の風景



地域医療連携（施設）担当者会

海部病院の役割

地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を促進



平成25年度実績

訪問診療	訪問看護
249件	470件



全国初

Kサポートのご紹介

徳島県立海部病院と徳島大学病院では、平成25年2月に、全国初となる、スマートフォンとインターネットを利用した海部病院遠隔診療支援システム“Kサポート”を導入しました。本号では、救急医療における救命率の向上や救急当直医の負担軽減に貢献する“Kサポート”について、ご紹介します。

●“Kサポート”とは？

“Kサポート”とは、CTやMRIなどの画像情報や患者情報を海部病院の医師等のスマートフォンに迅速に提供できるシステムのことです。このシステムにより、海部病院の担当医は、時間や場所に関わらず必要な情報を他院の専門医等に送り、それに対して適切な指示・アドバイスを受け取ることが可能となりました。さらには、コメント、処置の状況、参照画像等が時系列で表示されるため、診療に関わる複数の医療スタッフが、発症した時点からどのような検査、診断、治療が行われたかの情報を共有することができます。



伝送画像例(心電図)

●“Kサポート”の実績

平成25年2月の運用開始から平成26年9月末時点で、381件の利用実績がありました。特に、脳梗塞の場合は血栓を溶解する薬を発症後一定時間内に投与することが重要ですが、海部病院ではこれまで専門医不在時の投与実績がありませんでした。しかし、専門医の指示をスマートフォンで受け取ることができるようになったため、平成25年度では4例の投与実績をあげました。また、本システムではCTやMRI画像以外にも通常の単純撮影や心電図なども転送可能であり、外傷の程度についても救急隊からの画像を事前に見ることで迅速、的確な対応ができるようになりました。



システムを立ち上げる救急隊員

●今後の展望について

本システムを活用して、従来困難であった急性期脳卒中や虚血性心疾患に対しての標準的治療を行うことが十分に可能になりました。さらには研修医から中堅医まで安心して診療できる体制を構築することで、医師確保の一助になることが期待されます。

本システムのようなスマートフォンとインターネットを利用した遠隔診療支援システムが、慢性的な医師不足に悩む日本全国の医療過疎地域に導入されることで、急性期脳卒中をはじめとする救急疾患の医療レベルの向上と勤務医の精神的・肉体的負担軽減に寄与すると思われまます。医療過疎地域を医療充実地域へ転換させることも夢ではありません。

海部病院の救急

海部病院は、救急病院として365日24時間、海部郡及び高知県安芸郡東洋町の「二次救急」（入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療）を担っています。

※専門医不在、高度治療が必要な場合、ドクターヘリや医師同乗の救急車で高次機能病院へ搬送します。

救急患者数	3,647人
救急車搬送患者数	1,029人
他院転送件数	89件

平成25年度実績



お願い - エボラ出血熱の発生国に渡航歴・滞在歴のある方へ -

世界保健機関(WHO)の情報によると、西アフリカのギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネ、コンゴ民主共和国(以下、発生国)において、エボラ出血熱が発生し、平成26年10月23日現在、エボラウイルス病の発生状況は、診断例10,141、死亡例4,922例に及んでいます。日本においても、エボラ出血熱の水際対策から、国内発生を想定した対応の準備が緊急的にすすめられています。

そこで、当院を受診される患者様で、過去1か月以内に、発生国へ渡航歴または滞在歴がある方は、受診前に、必ず電話連絡をお願いします。

連絡先：時間内 ☎(0884)72-1166、時間外 ☎(0884)72-1167

また、発熱症状があり、1か月以内に発生国に渡航歴のある方は、下記の保健所へ連絡を取り、その指示に従ってください。(厚生労働大臣の要請です)

阿南保健所(健康増進担当)：☎(0884)28-9874

美波保健所(健康増進担当)：☎(0884)74-7374



予防接種のご案内

◆インフルエンザ予防接種

- (1) 実施期間：平成26年10月1日(水)～平成27年2月27日(金)
※ただし東洋町在住の方は、平成26年10月1日(水)～平成26年12月26日(金)
- (2) 費用：①海部郡内あるいは東洋町在住で65歳以上の方：1,000円
②上記以外で16歳以上の方：3,800円
- (3) 接種日時：平日14時～16時 受付：当日14時～15時30分(1階会計窓口)
- (4) 場所：海部病院内科外来



◆高齢者等肺炎球菌予防接種

- (1) 実施期間：平成26年10月1日(水)～平成27年3月31日(火)
- (2) 対象者：海部郡内在住で、予防接種実施期間内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳になれる方 ※過去に肺炎球菌予防接種を受けられた方は対象外となります
- (3) 費用：4,000円
- (4) 場所：海部病院内科外来
- (5) 接種日時：毎週火曜日14時～16時
- (6) 予約先：内科外来(☎0884-72-1166) ※前の週の金曜日までに予約をすませてください(完全予約制)



クリスマス・新春邦楽コンサートを開催します!

病院職員等によるコンサートを次のとおり開催します。
多くの方々のご来場をお待ちしております。

◆クリスマスコンサート

日時：平成26年12月21日(日) 13時30分～
場所：海部病院1階ロビー

◆新春邦楽コンサート

日時：平成27年1月10日(土) 13時30分～
場所：海部病院1階ロビー



入場無料

発行・お問い合わせ

発行日 平成26年11月
徳島県立海部病院広報委員会
〒775-0006 徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村75-1
☎0884-72-1166(代) FAX.0884-72-3521 <http://133.242.186.80/>

新病院イメージ図▶

